

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 23 No.9 2021年5月15日

製品・サービス動向-国内

■GN オーディオジャパン：4KパノラマWebカメラ「PanaCast」から、会議室向けとパーソナル向けの2種類の新製品を発表

(記者発表会：4月28日)

GN オーディオジャパン株式会社 (<https://www.jabra.jp/>) (東京都港区) は、世界初 180° パノラマ 4K 対応オンライン会議カメラ「Jabra PanaCast」の新しいラインナップとして、会議室での利用に最適な一体型インテリジェントビデオバー「PanaCast 50」と、テレワークなどパーソナル利用に最適な「PanaCast 20」の2種類の新製品を発表。



PanaCast 50—ブラックとグレーの2色を用意
(GN オーディオジャパン)



PanaCast は3製品をラインナップ

2019年9月に発表したハドルーム向け Jabra

PanaCast(ジャブラパナキャスト)に加えて、個人ユーザの Web カメラ、そして会議室向けのオールインワンのビデオバーを揃えることで、パーソナルから会議室まで、全てのミーティング環境に対応したラインナップを Jabra が提供する形になる。

少しおさらいになるが、同社で“レジェンド”と呼ばれる Jabra PanaCast は、胸ポケットに入るくらい大きさにもかかわらず、1300万画素の単眼カメラ3台と2つのマイクを搭載。カメラにおいては、ステッチング技術により3つの映像をひとつの映像として合成し、自然で臨場感のある180°4Kパノラマビューを実現したほか、AI技術を使った、会議室の参加者がカメラに収まるように自動調整する「インテリジェントズーム」機能に対応している。

「Jabra PanaCast はフレキシブルな用途向けとして、幅広い業種の企業で数多く採用されており、また学校においても50校以上に導入いただいている。臨場感を持ったゼミや授業がおこなわれている。このため日本のエンタープライズセールスはこの1年で急成長を遂げ、来年にかけても順調な成長を見込んでいるところだ。」(GN オーディオジャパン)

今回発表された2製品は、この Jabra PanaCast で採用されている技術を移植した上で新たな機能を追加し、会議室に最適化されたオールインワンモデルと、パーソナルなビデオ会議環境に最適化されたモデルという位置づけになる。

PanaCast 50

PanaCast 50 は、PTZ カメラに加えマイクそしてスピーカーを搭載した一体型となる。新製品も同様に3台の1300万画素のカメラを搭載し、180°パノラマ

4K で会議室の全体を見渡すことができるようになっている。180° のカメラを搭載していることから、4.5m x 4.5m の部屋をスタンダードな広さと定義しているが、部屋の形状によって、90° など複数の画角も設定画面で選択できるようにもなっている。

また、PanaCast 50 には、フルデュプレックスに対応した 8 つのビームフォーミングマイクが搭載されており、音声を正確に検出し、ノイズを除去するインテリジェントなアルゴリズムを備えている。さらに、ゼロバイブレーションにセットされた 2 つの 50mm ウーファーと 2 つの 20mm トウイーターの合計 4 つの Jabra 独自設計のスピーカーを内蔵。スピーカーからの没入型ステレオサウンドで部屋を満たし、最新の双方向音声技術により自然な会話を実現するとしている。

高性能なカメラやマイクスピーカーに加えて、ひとりでの通話からチーム全体での会議まで自然な会話を実現するための機能も充実している。レジェンドでも提供されている「インテリジェントズーム」機能に加えて、今回新たに「バーチャルダイレクター」機能も搭載した。

インテリジェントズームでは、一人、二人、三人など会議室の参加者がカメラに収まるようにその都度自動調整する機能。仕組みとしては、AI によって人の顔を検知し、同時に何人映っているか人数を数え（「People Count」）、3 台のカメラを組み合わせるとズームが働くようになっている。昨今のマスク着用にも対応しているという。

一方、バーチャルダイレクターは、一言で言えば話者追尾機能。会議の状況に応じてカメラを発言者から発言者へと自然に切り替えることができる。これにより、リモートの参加者でもディスカッションの状況を把握することが容易になる。「必ず話している方をフレームの中に入れる。」（GN オーディオジャパン）

これら 2 つの機能は、いわば、従来ではリモコンによる手動操作でやっていた部分を AI により人の手間

をかけずに自動調整するものという捉え方をするとわかりやすいだろう。

またカメラ 3 台搭載ならではのユニークな機能として、Jabra PanaCast で提供されていた「ホワイトボード共有機能」も PanaCast 50 に内蔵されている。3 台のカメラを搭載しているため、2 つのビデオストリームを同時に配信することができることからこの機能が実現している。

ひとつのビデオストリームで会議参加者に焦点を当てている間に、2 つ目のビデオストリームにより、ホワイトボード共有機能を使い、会議室にある“物理的にある”ホワイトボードの内容をリアルタイムに取り込む（キャプチャー）ことができるもの。会議やレッスン、講義の中でライブ配信している中で、リモートを含めた全ての参加者などがそのホワイトボードの内容を見て議論に参加できるようになる。

後述の「Jabra Xpress」を使用して、会議室の利用状況を把握する機能（「ライブ セイフティー インサイト」）もある。ひとつに、PeopleCount 機能でカウントした人数を、本製品利用者が定義した部屋の定員制限数と比較して、部屋の利用率が定員を超えているかどうかを判断する機能（「ライブ インルーム ガイダンス」）がある。いわゆる“密”を計測する機能だ。規定を超えた場合、その場にいる誰もが即座にリアルタイムで通知を受けることができるという。

また、ミーティングスペースの利用状況について、IT 管理者に分析データを提供する仕組みもある。これにより PanaCast ユーザはデータに基づいた現状把握や意思決定を行うことができるとしている。今後のオフィススペースの活用方法を検討する上で役立つ機能と言えよう。

その他 Jabra が提供している、デバイスマネジメントソフトウェア「Jabra Xpress」(ジャブラ エクスプレス)にも対応している。リモートからでも、Jabra のヘッドセットや PanaCast 各製品の一元管理を行える

ツールを無償で提供している。同社によると SOC2 準拠のアセット管理ができるという。

PanaCast 50 に同梱されるものは、本体のほか、ウォールマウント、USB 3.0 Type-C to A(2m)、パワーサプライ。発売は 6 月 15 日（火）予定。価格は税抜き 14 万 5,000 円。



リモートコントローラー—本体に合わせて 2 色を用意
(GN オーディオジャパン)

オプションには、テーブルスタンド、スクリーンスタンド、USB 2.0 ケーブル (5m)、リモートコントローラー (Bluetooth 対応) を用意する。

PanaCast 20

PanaCast 20 は、コンパクトで持ち運びや使用が簡単な 4K 対応 Web カメラ。場所も含めてフレキシブルに働く方が高品質で安全なビデオ通話をすることができる。

1 人から 2 人での使用に最適でパーソナルインテリジェントズームによってフレーム内に収まるようにカメラ映りを調整することができる。またライティングを自動調整する機能、ピクチャーインピクチャー機能などもある。なお、先述の Jabra Xpress にも対応している。

使用にあたっては、ヘッドセット「Jabra Evolve シリーズ」か会議スピーカーフォン「Jabra Speak シリーズ」を一緒に使うことを推奨している。

発売は 8 月 1 日(日)から。価格は税抜き 3 万 5,000 円。

Jabra

PanaCast 20: 次世代のパーソナルビデオ向けに設計

二ユーノールの環境でエッジを活用して、インテリジェントでセキュアなパーソナルコラボレーションエクスペリエンスを実現

¥15,000 (税込 ¥16,500)

同梱されるもの、USB 3.0 ケーブル、2m、電源アダプター

ビデオ
インテリジェントズーム
インテリジェントライティング
ピクチャーインピクチャー
4Kの10bit画質

オーディオ
重要なことを聞き逃さない
Jabra Speak E10は
Jabra Evolve2

安全性 & セキュリティー
Secure certified management
強力なエンジAIチップ
インストールにライバー保護のための統合ガバ
ネンス準拠の管理

柔軟性
クラウドベースでUSBプラグアンドプレイ
すべての主要なプラットフォームで動作

エッジ AI プロセッサー
クラウド最高のビデオエクスペリエンス、強
化されたプライバシー、進化のたつては
のためのオンデバイスAI

MS Teams, Zoom, Google Meet.
および主要なプラットフォームと互換
性ががあります

zoom

Google Meet

PanaCast 20 概要 (GN オーディオジャパン)

なお、PanaCast 50 と PanaCast 20 はいずれも「Microsoft Teams」「Microsoft Teams Rooms」「Zoom」「Zoom Rooms」など主要な UC プラットフォームに対応している。

今後発売日に向けて同社ではウェビナーなどを開催し、最新の製品情報を提供していくとしている。



ビジネスデベロップメントマネージャー 加藤昭彦氏(左)、
代表取締役社長 安藤靖氏(右) (GN オーディオジャパン)

■アバー・インフォメーション：4K の自動追尾リモートカメラ「PTC310U」および遠隔教育に最適な PTZ ウェブカメラ「DL30」の 2 機種を発売

(PRTIMES:5 月 12 日)

アバー・インフォメーション株式会社 (<https://jp.aver.com/default.aspx>) (東京都新宿区) は、4K の自動追尾リモートカメラ「PTC310U」および、遠隔教育に最適な PTZ ウェブカメラ「DL30」の 2

機種の販売を5月12日に開始する。



PTC310U (アバー・インフォメーション)

PTC310U は、AI による人体検知機能を活用したプレゼンターモードやゾーンモードといった、ターゲットの自動追尾機能を搭載した PTZ カメラ。人体検知機能によって、撮影アングルの自動調整やターゲットを自動追尾して撮影を行うだけでなく、指定したゾーンに撮影範囲を固定して撮影することも可能となっている。

また、12 倍高額ズーム搭載のため細部までクリアに映すことができ、プレゼンテーションやセミナーの放送、ストリーミング、録画などの用途に最適という。



DL30 (アバー・インフォメーション)

DL30 は、遠隔教育に最適。AI による自動追尾機能により、教壇で授業を行う先生の一举手一投足を正確に追尾することができる。加えて、黒板やディスプレイの内容も 12 倍光学ズームで鮮明に映すことができるため、臨場感のある質の高い授業を、遠隔から参加する生徒にも簡単に届けることができるという。

アバー・インフォメーションは、書画カメラやタブレット・PC 充電保管庫、ビデオ会議システムの分野におけるグローバルカンパニー。台湾に本社を置き、日本をはじめ米国、ヨーロッパ圏、アジア圏など 100 カ国以上へ製品を提供している。日本法人は 2009 年 12 月設立。

■ランゲージワン：Zoom オンラインイベントなどで活用できる同時通訳サービスを NEC ネットズエスアイと提供開始

(PRWire：5月12日)

多言語通訳ソリューションサービスを展開しているランゲージワン株式会社 (<https://www.languageone.qac.jp/>) (東京都渋谷区) は、NEC ネットズエスアイ株式会社 (<https://www.nesic.co.jp/>) (東京都文京区) と共同で、クラウド型ビデオチャットサービス「Zoom」に対応した「同時通訳サービス for Zoom」を5月12日より提供開始する。



同時通訳サービス for Zoom サービスイメージ
(ランゲージワン)

NEC ネットズエスアイでは、Zoom を使用したオンラインイベントの開催に最適な配信スタジオを東京の日本橋イノベーションベースに用意しており、イベントの事前準備から当日の配信オペレーションも含めた「Zoom オンライン配信サービス」は数多くのイベント配信者に活用されている。

一方で、オンラインイベントは場所に縛られずに開

催できるという特徴から、これまで想定していなかった海外からの登壇者の起用や、海外の視聴者にも情報配信することがより手軽にできるようになった。

そこで、今回サービスを提供開始する同時通訳サービス for Zoom は、Zoom オンライン配信サービスのスタジオから配信をする際に、オプションとして利用できる形になる。

通訳者はランゲージワンのパートナーの拠点からリモートで参加し、同時通訳業務を行う。また、通訳音声は Zoom の言語通訳機能を用いて配信され、イベントの視聴者は登壇者のオリジナル音声と通訳後の音声を自由に選択した視聴することができる。

同時通訳は、リアルタイム配信のみで、基本サービスでは英語・日本語通訳のみの提供となる。その他の言語での通訳を希望の場合は同社へ問い合わせ。

ビジネス動向-国内

■Chatwork と RevComm：「Chatwork DX 相談窓口」の提案サービスとして新たに MiiTel の提供を開始

(5月11日)

ビジネスチャット「Chatwork」を提供する Chatwork 株式会社 (<https://corp.chatwork.com/ja/>) (大阪府大阪市) と、AI 搭載の IP 電話システム「MiiTel (ミーテル)」を提供する株式会社 RevComm (<https://www.revcomm.co.jp/>) (東京都渋谷区) は業務提携を行い、中小企業の DX を支援する「Chatwork DX 相談窓口」の提案サービスとして新たに MiiTel の提供を開始した。

Chatwork は、国内利用者数 No.1 のビジネスチャット「Chatwork」を展開しており、メール、電話、会議にかわる次世代のビジネスコミュニケーションツールとして、中小企業を中心とした民間企業、教育機関、官公庁など 313,000 社以上 (2021 年 4 月末時点) に

導入されている。

RevComm は、音声技術と AI により、コミュニケーション課題を解決する企業。同社が提供している MiiTel は、電話営業やコールセンター業務における、会話のラリーの回数、話す量・聞く量・会話のジャンル、声の高低・遅延などを AI で検出し、高精度のフィードバック (複数人での商談の解析や振り返りが可能) を行うことで商談獲得率や成約率の向上を実現する IP 電話システム。

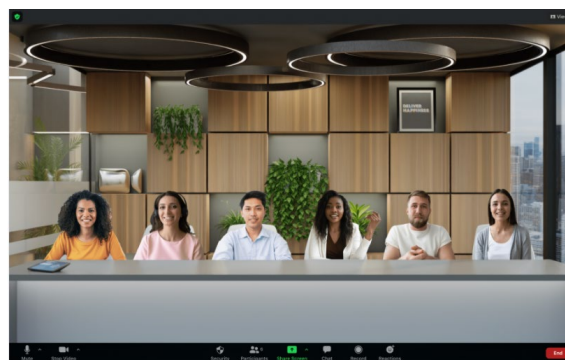
この度、Chatwork DX 相談窓口の提案サービスとして MiiTel が加わる。中小企業の豊富な導入実績を誇る Chatwork と、商談獲得率・成約率向上を実現する MiiTel の連携により、中小企業の DX 推進をより一層支援していくとしている。

製品・サービス動向-海外

■Zoom 社：参加者をあたかも全員がひとつの会議室にいるかのように仮想背景 (シーン) に配置する「イマーシブビュー」を発表

(Zoom blog: 4月26日)

Zoom 社は、同社ブログにて、ImmersiveView(イマーシブビュー)を発表した。



「イマーシブビュー」イメージ (Zoom 社)

イマーシブビューは、ビデオ会議やウェビナーの参加者をあたかも全員がひとつの会議室にいるかのように

に仮想背景に配置し、まとまりのある仮想会議スペースを作り出す機能。最大25名までをひとつの仮想シーンに集めることが可能となっている。Windows および MacOS デスクトップクライアントで利用ができ、Zoom 5.6.3 以降を使用するフリーおよびシングル Pro アカウントにおいて標準で有効になっている。



イマーシブビューイメージ (Zoom 社)

会議およびウェビナーの主催者は、スピーカーまたはギャラリービューを選択するのと同じ方法で、イマーシブビューを選べるようになっており、少人数のグループ向けにさまざまなレイアウト（※ひとつひとつのイマーシブビューをシーンと呼んでいる）が用意されている。会議のサイズに合わせてシーンを展開できる。

シーンを設定すると、ホストは参加者を自動または手動でシーンの任意の場所に配置することができ、そのシーン内で簡単に移動したり、画像サイズを変更したりも可能となっている。

参加者が 25 名を超えた場合は、シーン上部のサムネイルストリップに表示される形。あるいはホストが画面共有を始めた場合は、イマーシブビューは終了し、共有画面に置き換えられる。また共有が停止すると、イマーシブビューは以前と同じ位置から再開される。

なお、イマーシブビューに対応していないユーザはギャラリービューまたはスピーカービューにて表示される形。また、ウェビナーでイマーシブビューを使用するとホストとパネリストと一緒に仮想背景に配置されるようになっている。レコーディングについてはイ

マーシブビューについては現在のところサポートされていないとのこと。

セミナー・展示会情報

<国内>

■ヤマハ ウェビナー「オンライン×リアル のハイブリッドイベントを実演！ ～Zoom・マイク・スピーカーの使い方&字幕・議事録作成講座～」

日時：5月20日（木）14:00~15:30

会場：オンライン

主催：ヤマハ株式会社

詳細・申込：https://solution.yamaha.com/lp/webinar_202105

※Zoom 日本法人、アドバンスド・メディア、ヤマハ各社の講演あり。

■ブイキューブセミナー（5月～6月）

「徹底解説！失敗しないウェビナーツールの選び方」「ハンズフリーで現場作業を遠隔支援！スマートグラスオンライン体験セミナー」「Web 会議だけでももったいない！Zoom 活用術をご紹介」「Zoom と商談特化ツールはどう使い分ける？」など

会場：オンラインセミナー

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー（5月）

「Webex Meetings の基本」「Webex Meetings の新機能」「Webex Events の概要、新しい機能のご紹介」など（録画も視聴できます）

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2021年5月15日号おわり

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp